

9 学年学年通信

Vol.03
R7.04.17

港区立御成門学園御成門中学校

☆シンガポール修学旅行に向けて:総合学習ガイダンス

今年度の総合的な学習の時間では、「国際理解」をテーマに、6月に予定されているシンガポールへの修学旅行と連携した探究活動を行います。

修学旅行とテーマ学習の融合

9年生の総合学習では、各自が設定した課題に基づいて探究活動を行います。今年度は、修学旅行の4日目に実施される探究活動と連動し、シンガポールでの現地学習を通じて「国際理解」を深めることを目指します。

探究テーマの例

- ・シンガポールの多文化共生社会の実態
- ・水資源管理と持続可能な都市開発
- ・徴兵制度と社会構造の関係
- ・シンガポールの教育制度と国際競争力



これらのテーマについて、事前に調査を行い、現地での観察やインタビューを通じて理解を深めます。

今後のスケジュール

- ・5月20日(火):総合説明会(新入生へのプレゼンテーション)
- ・6月:シンガポール修学旅行(現地での探究活動)
- ・夏休み:探究活動のまとめとプレゼンテーション資料の作成
- ・10月:学習発表会(学年代表による発表)
- ・1月:展示会(選抜された発表の展示)

修学旅行を通じて、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる貴重な機会となります。積極的に取り組んでいきましょう。



☆シンガポール大使館員による特別授業

4月15日、シンガポール大使館の2等書記官の方をお招きし、シンガポールについての特別授業が行われました。日本語はまだ勉強中とのことでしたが、丁寧でわかりやすいプレゼンテーションに、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

授業では、シンガポールの地理や歴史、多民族社会の特徴、教育制度などが紹介されました。特に印象的だったのは、シンガポールが独立後、民族の平等を重視し、英語を共通語として採用したことです。これにより、異なる民族間の橋渡しが可能となり、社会の統合が進められました。

また、シンガポールは資源に乏しい国であるため、「人」を最大の資源と捉え、教育に力を入れてきたことが紹介されました。その結果、OECDの学力調査では、数学や科学で世界トップクラスの成績を収めています。

さらに、日本とシンガポールの関係についても触れられ、両国が最初に経済連携協定(EPA)を結んだことや、貿易や教育、技術などで深くつながっていることが紹介されました。

最後に、「シンガポールと日本の一番の違いは何だと思いますか?」という問いかけがあり、生徒たちは自分たちの国と他国の文化を比較しながら考える貴重な機会となりました。



🌸 学年レクリエーションを行いました 🌸

春の陽気に包まれた4月15日、5・6時間目を使って学年レクリエーションを実施しました。新しいクラスでの交流を深める良い機会となりました。

5 時間目:クラスごとの活動

- ・女子:体育館で「椅子取りゲーム」と「フルーツバスケット」を行いました。様々な音楽が流れる中、笑顔と歓声があふれ、楽しい時間を過ごしました。椅子取りゲームでは、3組の生徒が見事優勝し、拍手が起こりました。
- ・男子:校庭でサッカーを行い、各クラスが「勝」「敗」という接戦でした。勝敗を超えて、フェアプレーとチームワークの大切さを感じることができました。

6 時間目:全員でドッジボール

6 時間目は、男女合同で体育館に集まり、クラス対抗のドッジボールを行いました。こちらも全クラスが「勝」「敗」となり、実力が拮抗していることを実感しました。男子がボールを優しく投げる場面も見られ、思いやりのあるプレーが印象的でした。

今回のレクリエーションを通じて、クラスや学年の仲間との絆が深まり、温かい雰囲気の中で楽しいひとときを過ごすことができました。今後の学校生活においても、この団結力を大切にしていきたいと思います。



☆シンガポールを知る!転入生の特別スピーチ

6月に修学旅行でシンガポールを訪れる9年生たちに向けて、4月11日、シンガポールからの転入生による特別スピーチが行われました。自身の体験や知識をもとに、歴史・文化・気候・ルール・観光地など、さまざまな視点からシンガポールについて紹介してくれました。

ユーモアを交えながらシンガポールの歴史をわかりやすく説明してくれました。国の始まりは「テマセック」という港町であったこと、「ライオンを見た」という伝説から「シンガポール＝ライオンシティ」という名前がついたことなど、興味深い話が続きました。

また、シンガポールの文化の多様性についても触れ、英語・中国語・マレー語・タミル語が公用語であることや、中華系・マレー系・インド系など様々な民族が共に暮らしていることを紹介。生徒たちも、グローバルな社会について身近に感じる事ができたようです。

気候については、「日本の夏の方が暑いかも」という実感が伝えられ、服装はTシャツや短パンで十分とのこと。突然のスコールに備えて折りたたみ傘やレインコートが必要というアドバイスもありました。

さらに、シンガポールのルールやマナーについても具体的に教えてくれました。禁煙エリア外での喫煙やガムの持ち込みへの厳しい罰則、公共の場でのマナー、そして薬物に対する厳罰など、「ルールを守ることの大切さ」が強く伝わる内容でした。

観光地の紹介では、ユニバーサル・スタジオ・シンガポール(USS)やセントーサ島、ショッピングモールについて、現地での様子を交えた詳しい説明があり、生徒たちの期待もぐんと高まりました。特にUSSのアトラクション紹介では、「濡れるライドにはレインコート必須!」というリアルな助言も。動物園や国立大学の紹介もあり、学びの多い時間となりました。

終始、明るく自然な語り口に、教室は和やかな雰囲気になっていました。参加した生徒からは「もっと聞きたい!」「実際に行くのが楽しみになった!」という声も多く聞かれました。

このスピーチをきっかけに、生徒たちがシンガポールという国をより深く知り、異文化への関心を高める貴重な学びの場となりました。

☆ICU ジュニアチアリーディング選手権大会に出場

新年度が始まり、学校にも新たな風が吹き込んでいます。そんな中、嬉しいニュースが飛び込んできました。

9年3組の生徒が、2025年4月23日から25日にかけてアメリカ・フロリダ州オーランドで開催される「ICU ジュニアチアリーディング選手権大会(JWCC)」に日本代表として出場します。

ICU ジュニアチアリーディング選手権大会とは?

この大会は、国際チア連合(ICU)が主催する、世界中のジュニア世代のチアリーダーが集う国際大会です。毎年4月にウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート内のESPNワイド・ワールド・オブ・スポーツ・コンプレックスで開催され、約100カ国から選手が参加します。

日本からは、一般社団法人日本スポーツチア&ダンス連盟(Cheer Japan)が選出した代表チームが出場し、過去にはユース・ポン部門で2連覇を達成するなど、世界の舞台で高い評価を受けています。

代表になった生徒は、国内の厳しい選考を勝ち抜き、日本代表として選出されました。日々の練習に真摯に取り組み、技術と表現力を磨いてきた成果が実を結んだ形です。彼女の努力と情熱は、クラスメートや教職員にとっても大きな刺激となっています。

皆さんの応援を!

世界の舞台で輝く代表生徒を、学校全体で応援しましょう。彼女の活躍は、私たち御成門中学校の誇りです。頑張ってください!

【お知らせ】スーツケースの無料貸し出しについて

シンガポール修学旅行に向けて、希望する生徒にスーツケースの無料貸し出しを行います。ご家庭でスーツケースのご用意が難しい場合など、ぜひご利用ください。

貸し出しを希望する場合は、担任の先生から「スーツケース貸与希望書」を受け取り、必要事項を記入の上、4月23日(水)までにご提出ください。